

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3450-5151

担当者の所属・氏名 乳腺外科 白鳥 友美

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 白鳥 友美

癌が乳管内にとどまっている非浸潤性乳管癌の方を対象とした

サブタイプ別の予後に関する研究

1.研究の対象

2005年から2015年までに当院で非浸潤性乳管癌の診断を受けた、もしくは治療を受けられた方を対象としています。

2.研究の目的・方法

乳癌のうち約10%は、癌が乳管内にとどまっている非浸潤性乳管癌です。非浸潤性乳管癌に対して標準治療を行った後の予後は非常に良好ですが、中には局所再発がおきる方もいます。局所再発した方のうち約半数は浸潤癌として再発し乳癌死するリスクは高くなります。再発に関連する因子としてサブタイプに注目すると、ホルモン受容体陽性やHER2陽性が局所再発のリスク因子になりうると示唆している論文もありますが、確立したデータはないのが現状です。そこで、当院で非浸潤性乳管癌と診断された方の背景や病歴、癌の特徴、行われた治療及びその後の経過について調査し、非浸潤性乳管癌の再発リスク因子について検討し再発高リスクの患者についての術式や治療方針などの改善をすることを目的に、この研究を行います。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、病歴、術式、癌組織の情報、病理検体番号、病理レポート、局所再発・遠隔転移の有無と再発転移の確認日 等